

KN グローカルリサーチレポート

2023年9月
No.89



総務省は、今年1月1日現在の日本の人口を1億2,541万人と発表しました。日本人住民の人口は、14年連続で減少しており、昨年一年間で浜松市と同程度の人口が減少しました。一方、外国人住民の人口は調査開始以降（平成25年）最多で約300万人となり、外国人住民の割合は2.4%となりました。

表1と表2からわかるように、日本人住民の減少は自然増減（出生者数－死亡者数）で、外国人住民の増加は社会増減（転入者数－転出者数）の国外からの転入です。

（平成24年の「住民基本台帳法」の改正で外国人登録制度が廃止になり、在留資格を取得して中長期日本に滞在する外国人は、日本に入国して住居地を定めてから14日以内に市区町村に住居地の届出（転入届）を行うことが必要となっている）

本年6月に政府は、深刻な働き手不足への対応として、特定技能の対象業種を追加し、長期就労や家族帯同ができるように体制を整えるとしました。

■表1 日本の住民基本台帳人口 令和5年1月1日現在

	人口	対前年増減
日本人住民	1億2,242万3,038人	▲80万523人
外国人住民	299万3,839人	28万9,498人
合計	1億2,541万6,877人	▲51万1,025人

総務省「住民基本台帳人口」より作成

■表2 自然増減と社会増減

	日本人	外国人
自然増減数	▲79万3,324人	8,073人
社会増減数	▲7,199人	28万1,425人

外国人住民

日本にいる外国人住民約300万人の国籍等は、「中国」が最も多く全体の1/4で、「ベトナム」「韓国」「フィリピン」「ブラジル」等となっている。

10年前と比較すると、外国人住民は約100万人増えている。「中国」は約10万人増え、「韓国」は約10万人減っている。

「ベトナム」「ネパール」「ミャンマー」が大幅に増えている。

南米の「ブラジル」は微増で「ペルー」は微減である。

■表3 国籍等

	2022年12月		2012年12月	
	人	%	人	%
中国	761,563	24.8%	652,595	32.1%
ベトナム	489,312	15.9%	52,367	2.6%
韓国	411,312	13.4%	530,048	26.1%
フィリピン	298,740	9.7%	202,985	10.0%
ブラジル	209,430	6.8%	190,609	9.4%
ネパール	139,393	4.5%	24,071	1.2%
インドネシア	98,865	3.2%	25,532	1.3%
米国	60,804	2.0%	48,361	2.4%
台湾	57,294	1.8%	22,775	1.1%
タイ	56,701	1.8%	40,133	2.0%
ミャンマー	56,239	1.8%	8,046	0.4%
ペルー	48,914	1.6%	49,255	2.4%
インド	43,886	1.4%	21,654	1.1%
その他	342,760	11.3%	165,225	7.7%
合計	3,075,213	100%	2,033,656	100%

「在留外国人統計」より作成

2022年12月現在の在留の種類は、「永住者」が最も多く全体の約3割で、以下、「特定技能」「技術知識国際」となっている。「永住者」や「定住者」、その配偶者や家族等の日本での長期滞在者は全体の半数を占める。

10年前と比べると、「特定活動」が4倍に、「特定技能」が3倍、「技術知識国際」が2.7倍、「経営・管理」が2.5倍、「留学」が1.6倍と増加している。

「特別永住者」と「日本人の配偶者」は減少している。

■表4 在留の種類

	2022年12月		2012年12月	
	人	%	人	%
永住者	863,936	28.1%	624,501	30.7%
特定技能	455,863	14.8%	151,447	7.4%
技術知識国際	311,961	10.1%	111,994	5.5%
留学	300,638	9.7%	180,919	8.9%
特別永住者	288,980	9.4%	381,364	18.8%
家族滞在	227,857	7.4%	120,693	5.9%
定住者	206,938	6.7%	165,001	8.1%
日本人配偶者	144,993	4.7%	162,332	8.0%
特定活動	83,380	2.7%	20,159	1.0%
永住者配偶者	46,999	1.5%	22,964	1.1%
技能	39,775	1.3%	33,863	1.7%
経営・管理	31,808	1.0%	12,609	0.6%
高度専門職	18,315	0.5%	—	—
教育	13,413	0.4%	10,121	0.5%
企業内転勤	13,011	0.4%	14,867	0.7%
その他	27,346	0.8%	20,822	1.0%
合計	3,075,213	100%	2,033,656	100%

「在留外国人統計」より作成

浜松市内の外国人住民

浜松市市民課の『国籍別外国人人数』統計では、2022年10月1日の浜松市内の外国人人数は26,380人で、10年前から約5千人増加した。

国籍は「ブラジル」が最も多く全体の約3割で、以下「フィリピン」「ベトナム」「中国」となっている。「ベトナム」「インドネシア」「ネパール」「ミャンマー」等が10年前から大きく増加している。

在留の種類は「永住者」が多く、次いで、「定住者」「特定技能」「日本人配偶者」で、長期滞在者の割合は約8割となっている。

在留の種類は「永住者」が多く、次いで、「定住者」「特定技能」「日本人配偶者」で、長期滞在者の割合は約8割となっている。

■表5 国籍別外国人人数 10月1日

	2022年	2012年
ブラジル	9,580	9,318
フィリピン	4,135	3,027
ベトナム	3,656	1,150
中国	2,286	2,736
ペルー	1,775	1,750
インドネシア	1,176	651
韓国と朝鮮	1,090	1,413
ネパール	530	137
タイ	260	158
インド	241	192
ミャンマー	204	10
米国	141	161
台湾	138	0
その他	1,168	775
合計	26,380	21,478

浜松市「市民生活課」の資料より作成

■表6 在留の種類 2022年

永住者	12,670
定住者	5,179
特定技能	2,828
日本人配偶者	1,446
技術知識国際	1,365
留学	948
家族滞在	878
永住者配偶者	834
特別永住者	700
特定活動	311
技能	143
企業内転勤	124
教育	79
経営・管理	67
高度専門職	35
その他	65
合計	27,672

「在留外国人統計」より作成

2023年8月25日執筆 [バックナンバー](#) →



***** お問い合わせ *****

西川公一郎 ((一財)日本総合研究所 客員研究員、防災士、元浜松市議会議員)

浜松市南区 在住 ko-ichi@24kawa.org